

## 東芝ヒートポンプ給湯機

## リモコン取付説明書

台所リモコン: HWH-RM94F(B)  
HWH-RM94F(W)

浴室リモコン: HWH-RB94F(B)  
HWH-RB94F(W)

- このたびは東芝ヒートポンプ給湯機用リモコンをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

## 安全上のご注意

- お客さまご自身では取り付けしないでください。安全や機能の確保ができません。必ず販売店、工事に依頼ください。
- お使いになる人や他の人への危害、財産の損害を防ぐために、お守りいただくことを説明しています。
- 記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

## 表示の説明

- △ 注意** “取扱いを誤った場合、使用者が軽傷(\*1)を負うことが想定されるか、または物的損害(\*2)の発生が想定されること”を示します。

\*1: 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。  
\*2: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

## 図記号の説明



○は禁止(してはいけないこと)を示します。  
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

## △ 注意



台所リモコンは、水しぶき・蒸気があたる場所や浴室など湿度の多いところに取り付けられない

禁止

火災・感電・故障の原因になります。



リモコンは、直射日光の当たるところ、屋外や燃焼器具の上など高温になるところに取り付けられない

禁止

変色・変形・火災の原因になります。



リモコンを分解しない

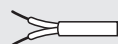
故障の原因になります。

分解禁止

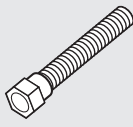
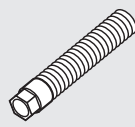
- リモコンを取り付ける際には、必要により指定の別売部品を使用し、この取付説明書の注意事項をお守りください。

## 別売部品

リモコンケーブル  
HWH-205C(20m)  
HWH-505C(50m)



## ステーパイプキット【HWH-STP1】



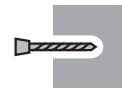
壁押えカバー ステーパイプ (大) ステーパイプ (小)

## その他の注意事項

- リモコンとリモコンケーブルを高周波機器などの近くに設置すると、インターホンに雑音が入る場合があります。
- 製品の漏電や断器を必ず「切」にして工事をしてください。感電の原因になります。
- リモコンのケースに止めてあるねじは、はずさないでください。故障の原因になります。
- ねじの締め付けに、電動ドライバーを使用しないでください。端子やリモコン取付板などが破損・変形するおそれがあります。
- できるだけ、付属のねじを使用してください。
- タイル、コンクリート、モルタルなどの壁のとき、オールプラグを壁に打ち込んでから、木ねじで取り付けてください。

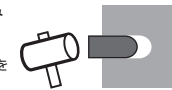
## 1. 穴あけ

Φ6mm  
深さ 30mm



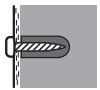
## 2. 打ち込み

オールプラグを  
打ち込む



## 3. 取り付け

ねじ止めをする

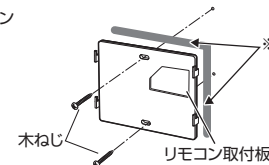


- 各リモコンは、操作がしやすく、表示が見やすい場所に取り付けてください。
- 台所リモコンは、音声の聞き取りやすい場所に取り付けてください。
- 浴室リモコンは防水設計をしていますが、お湯・水が直接かかるところに設置するのはさけてください。
- 通話時にハウリングを起こすことがありますので、台所リモコンと浴室リモコンは同じ壁の表と裏での取り付けをさせ、離れた場所に取り付けてください。
- 各リモコンは、必ず平らな壁面に取り付けてください。変形し、操作ができなくなるときがあります。
- 各リモコンのスピーカー部に鉄粉が付着するような場所に置かないでください。故障の原因になります。
- リモコンケーブルの長さは、浴室リモコンは 25m 以内、台所リモコン・増設リモコンは 50m 以内となる場所に取り付けてください。操作ができなくなる場合があります。
- 浴室リモコンの壁貫通取付のときは、別売部品の HWH-STP1 をご使用ください。

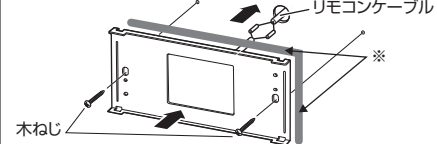
## リモコン取り付けについてのお願い

- ①リモコンの取り付けは、極力平らな壁面を選び、木ねじで締め付け過ぎないように注意してください。(下図を参照ください)
- ②リモコンを取り付ける時に、リモコンケーブルをかみ込まないようにしてください。
- ①、②を守らないと、リモコンが取り付けがなかったり操作を受け付けなくなることがあります。
- ③浴室リモコンと浴室壁面のすき間は、全周シリコン系コーキング剤で十分シーリングしてください。シーリングが不十分だと故障の原因になります。

## ●台所リモコン



## ●浴室リモコン

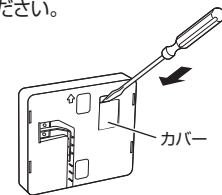


※の部分が変形しないように木ねじで固定してください。

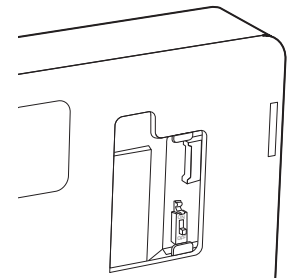
## 台所リモコンの増設のしかた

- ・台所リモコンは、増設リモコンとして使用できます。下図の設定を切替えて接続してください。

- 1 台所リモコン背面にあるカバーをはずします。このとき、リモコン内の基板を傷つけないように、注意してください。

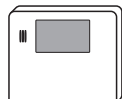


- 2 カバー内部のスイッチを「OFF」にしてください。

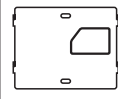


# 台所リモコンの取り付けかた

## 台所リモコンの付属品



台所リモコン



リモコン取付板



Y形圧着端子  
2個



オールプラグ  
2本



皿小ねじ  
2本



木ねじ  
2本



ケーブル押え:5N  
1個  
(ケーブル2本止め用)



ケーブル押え:3N  
1個  
(ケーブル1本止め用)

## 1. 壁貫通取付

## 2. ケーブル露出取付

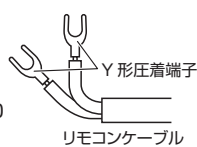
### ■リモコン取付場所の選定

極力平らな面で、ねじの締め付け後もリモコンが変形しない場所を選定してください。  
表面の【リモコン取り付けについてのお願い】を参照してください。  
また、電磁調理器や高周波機器の近傍はさけてください。通話時に雑音が入ったり、不動作の原因になることがあります。

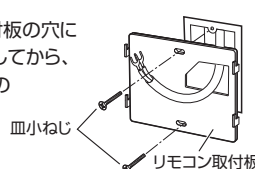
- 1 リモコンケーブルを埋込みボックスまで引き込みます。



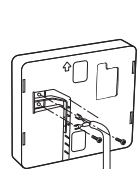
- 2 リモコンケーブルの先端を約6mm皮むきし、付属のY形圧着端子を加締めます。  
※適合圧着工具: YHT-2210 (日本圧着端子製造(株)製)



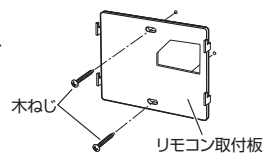
- 3 リモコン取付板は、取付板の穴にリモコンケーブルを通してから、埋込みボックスに付属の皿小ねじで止めます。



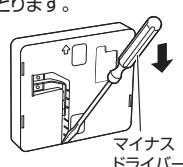
- 4 リモコンに、Y形圧着端子の付いたリモコンケーブルをねじ止めます。



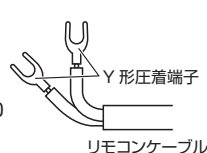
- 1 リモコン取付け位置に、リモコン取付板を付属の木ねじで壁に止めます。



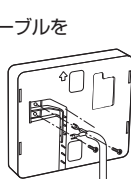
- 2 リモコン裏の下側にある、ツメをとりまします。  
ツメはドライバーを溝に入れて下方向に倒せばとれます。  
ラジオペンチでとるときは、先端でつまんで上げてとってください。



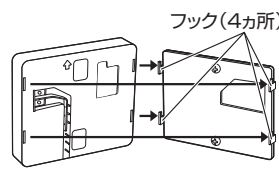
- 3 リモコンケーブルの先端を約6mm皮むきし、付属のY形圧着端子を加締めます。  
・適合圧着工具: YHT-2210 (日本圧着端子製造(株)製)



- 4 リモコンに、Y形圧着端子の付いたケーブルをねじ止めし、ケーブルをリモコンの溝に沿わせます。  
このとき、端子部付近のケーブルにリモコン裏面よりはみ出さない程度のたるみをもたせてください。

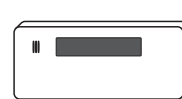


- 5 リモコン取付板にある、4カ所のフックにリモコンを差し込み、【カチッ】と入り込むまで下にスライドさせます。  
【取りはずす場合は、逆の動作ではずします】

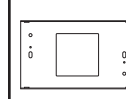


# 浴室リモコンの取り付けかた

## 浴室リモコンの付属品



浴室リモコン



リモコン取付板



オールプラグ  
2本



木ねじ  
2本



ケーブル押え:5N  
1個  
(ケーブル2本止め用)



ケーブル押え:3N  
1個  
(ケーブル1本止め用)

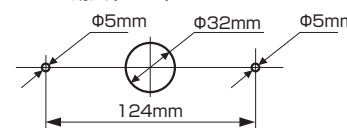
## 1. ユニットバス取付

## 2. 壁貫通取付

### ■リモコン取付場所の選定

極力平らな面で、ねじの締め付け後もリモコンが変形しない場所を選定してください。  
表面の【リモコン取り付けについてのお願い】を参照してください。

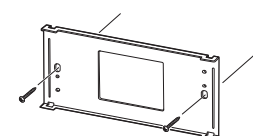
- 1 浴室内の壁に、リモコン取付用穴(Φ5)とケーブル用穴(Φ32)をあけてください。



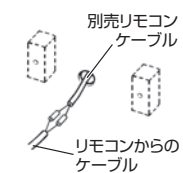
- 2 リモコン取付用穴の外側に補強用木片を接着してください。  
※補強用木片は、事前に調達してください。



- 3 付属の「リモコン取付板」をねじ止めます。  
(水平だしはこの時点で行ってください)



- 4 ケーブル用穴から、別売のリモコンケーブルを引き出し、リモコンからのケーブルと加締めます。  
・適合圧着工具: YNT-2216 (日本圧着端子製造(株)製)



- ※ケーブルを強く引っ張ると故障の原因になりますので、ケーブルはたるませて取り付けてください。

- 5 リモコン裏についているパッキンの保護紙をはがし取付板にはめ込みます。  
このとき、リモコンが変形しないように注意してください。

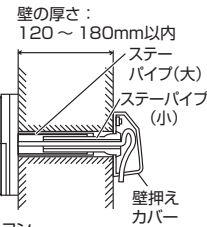


- 6 リモコン外周は壁とのすき間がないように、シリコン系コーキング剤でシーリングしてください。

### ■リモコン取付場所の選定

別売のステーパイプキット【HWH-STP1】を使用します

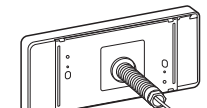
屋外に取り付ける場合は、壁押えカバーが取り付けられ、壁の厚さが120~180mm以内の場所にしてください。



- 1 浴室の壁にΦ32mmの貫通穴をあけてください。

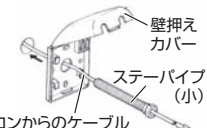
- 2 左図の寸法を参考に、貫通穴がセンターになるようにリモコン取付板を固定してください。  
(水平だしはこの時点で行ってください)  
※オールプラグを使用する場合は、Φ6mm、深さ30mmの穴をあけ、オールプラグを打ち込んでから、ねじ止めをしてください。

- 3 リモコン裏にステーパイプ(大)をねじ込み、パッキンの保護紙をはがして、リモコンをはめ込んでください。  
このとき、必ずステーパイプにケーブルを通してください。

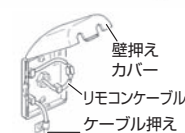


※ケーブルを強く引っ張ると故障の原因になりますので、ケーブルは若干たるませて取り付けてください。

- 4 外壁の穴の開いたところに壁押えカバー裏面の保護紙をはがしてはり付け、ステーパイプ(小)をねじ込みます。



- 5 別売部品のリモコンケーブルとリモコンからのケーブルを加締めて接続します。  
・適合圧着工具: YNT-2216 (日本圧着端子製造(株)製)  
加締め部は必ず壁押えカバーの中に収めてください。



- 6 リモコン外周は壁とのすき間がないように、シリコン系コーキング剤でシーリングしてください。